

『紡ぐ』

2020.6.15 第6号

発行 教育相談室「あした塾」

町の花 来よう！ササユリ

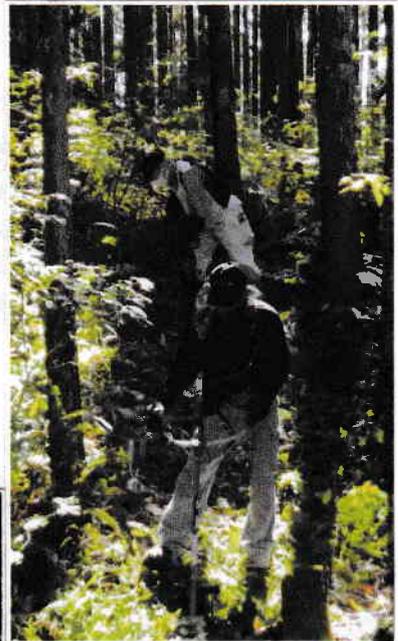


平成30年6月21日
に撮影したものです。
現在は、このように
光景を撮ることは
難しいですね。

5月28日、ササユリ保存会のメンバーとボランティアの人たちで、ササユリ群生地での再生を願って、イノシシの侵入を防ぐため電気柵の設置を行いました。

昨年、イノシシによって壊滅的な被害を受けました。このあと、種を蒔き、整備をして、いつかまた「群生地」といふ姿が見られる...という強い思いで仕事が進められました。何株かはツボミをつけており、6月20日頃には開花するものと思われています。

過去には、心算で何株も搬取って行ったということがあります。準絶滅危惧種でもあります。町全体を守っていますよ。



- 当日の活動参加者
- 田小路勝治さん(保存会)
 - 池上 悟さん(ボランティア)
 - 滝川 敏明さん(〃)
 - 幸崎 久史さん(〃)
 - 滝井 元之さん(〃)
 - 牛岩 栄一さん(牧場)

手作り感の鹿島駅 いっぱいの鹿島駅



鹿島の佐藤まゆみさんから「新型コロナウイルスで、いろいろな話ばかりで辛いね。ボランティアで頑張っている人があちこちいるし、そこも目を向けてほしい。」というお話を聴きました。この鹿島駅を取柄しました。地元ボランティア団体「梅娘会」の皆さんの活動の様子が目に見え、そんな「手作り感いっぱい」の駅でした。とくにホッとさせる空間でした。桜ばりかコースマップさんというので、待合室の中を含め、皆さんの心でいっぱい作り始められた鹿島駅。一度訪ねてみてください。

